

アクション2 調布

1 魅力発信の機会

平成27年 (2015) 市制施行60周年

大きく変貌する調布の街

◆京王線地下化に連動する21世紀の調布の街の骨格づくり

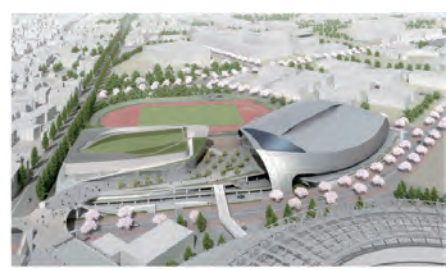
- ・駅前広場：布田駅(平成26年度交通開放)
国領駅(平成27年度完成予定)
調布駅(平成26年度着手・平成27年度以降段階的整備)
- ・鉄道敷地：平成27(2015)年度から段階的に整備
(平成36年度まで)
- ・調布駅南北市街地再開発事業：
平成27(2015)年度までに竣工予定
(南口東, 北1A, 北1B)
- ・布田駅南土地区画整理事業：平成26(2014)年度換地処分
- ・駅周辺の都市計画道路：
調布3・4・26号線, 28号線, 32号線, 33号線など



◆東京外かく環状道路の整備(平成32年度開通目標)

◆同時期に進行する市内大型事業(予定)

- ・調布駅周辺の複合商業施設の民間開発
(平成29年度竣工予定)
- ・武蔵野の森総合スポーツ施設(仮称)の整備(東京都)
(平成28年度竣工予定)
- ・電気通信大学100周年キャンパス整備・運営事業
(平成30年稼働予定)



東京都が現在整備を進める
武蔵野の森総合スポーツ施設(仮称)
出典：東京都ホームページ

平成32年 (2020) オリンピック・パラリンピック東京大会

2 魅力発信のねらい

魅力発信の目的
調布のまちの魅力を活用し市内外に積極
調布のまちに対する
につなげる。

21世紀の街の骨格づくり



調布のまちの魅力の要素

施策の推進による魅力へ向上

多様な魅力を再発見し、磨き、発信する

- 【取組の視点】**
- 市内外に発信
 - 市民や事業者との協働
- 【多様な発信媒体の活用】**
- インターネットやSNSの活
 - 市民や事業者との連携による
 - 市民交流イベントなどの活用

目指す効果

- ・市民のまちに対する愛着と誇りの高まり

まちの発展

- ・まちの活性化
- ・まちのイメージアップ

のまちの魅力発信

高め、その魅力を多様な媒体を
的に発信するとともに、市民の
愛着と誇りを高め、まちの発展

新たな課題 への対応

- 自然・環境
- 安全・安心
- 子育てのしやすさ
- 住みやすさ
- 福祉
- コミュニティ

り『新生・調布』

【推進体制】

- 庁内連携(プロジェクトチーム)
- 商工会や観光協会、NPO等との連携

用(HP・フェイスブック・ツイッターなど)
情報発信

- ・交流人口(来訪者など)の増加
- ・人の定住や企業の定着

へつなげる

- ・多様な主体の参加・協働によるまちづくりの推進

3 魅力発信の展開

魅力の気づき 魅力の再発見

- 庁内検討やアンケート調査・モニタリングによる新たな魅力の発見
- ワークショップなど、市民参加・協働により、調布の魅力の気づき・再発見

魅力の磨きあげ 魅力の結びつけ

- 施策の展開により魅力を高める
- 魅力と魅力を結びつけて相乗効果のある新たな魅力を創出

魅力の発信

- 多様な発信媒体を活用し、市内外に発信
- 調布に行ってみてみたいと思わせる情報発信

【様々な人へ向けて発信】

(例)ユニバーサルデザイン・多言語表記

【様々な手法で発信】

(例)ホームページ・SNS・動画配信
マスメディア・交流イベント

研修や研究を通じて各職員が
発信手法を学習・習得・実践

魅力の実感

- 調布市に住む人が「住んで良かった」と思える調布市の魅力を実感
- 調布市を訪れた観光客等が「来て良かった」と思える調布市の魅力を実感

新たな魅力の 気づき・再発見へ